

関市のために
ありがとう
ございました



10月15日、58回目となる市制記念日に市政功労者の表彰式が行われました。地方自治や産業、社会福祉などで功績のあった15人の方が市長から表彰を受けました。また、環境美化活動や多大な寄

付などで、4人の方と2団体に感謝状が手渡されました。午後からは教育功労者の表彰式があり、5人の方と4団体に教育委員長から賞状が手渡されました。

あんな事、こんな事



これを持ってお出かけください

市レジ袋削減協議会は、募集した未使用のマイバッグを、民生委員・児童委員を通じて独居の高齢者宅などに176枚配布しました。10月14日には武芸川町小知野地区にも配られ、受け取られた方は大変喜んでいらっしゃいました。今後も引き続き募集しますので、未使用のマイバッグがありましたら生活環境課または各地域事務所へ直接お持ちください。

人様に刃物を向けるべからず

好天に恵まれた第41回刃物まつりは、大廉売市をはじめ、古式日本刀鍛錬、包丁研ぎ、アウトドアナイフショーなど多彩なイベントが行われ、終日多くの人でにぎわいました。刃物を使った痛ましい事件を防ぐため、円空さんのイラストと「人様に刃物を向けるべからず」と書かれたTシャツを着て、身近な道具としての刃物の大切さを強く訴えました。





ブラジルの花を咲かせてね

10月12日、庁舎南市民広場にあるブラジルの国花「イペー」に花を咲かせようと、市内在住ブラジル人に呼びかけて肥料などを施しました。参加したブラジル人11人は、来年の開花を楽しみにしながら、移植ごてやスコップで溝を掘って肥料を撒いたり、土をかぶせたりしました。きっときれいな花を咲かせてくれることでしょう。

新鮮な食材もズラリ

10月1日にオープンしたシルバー本町プラザ「とんてん館」で毎週水曜日に朝市が開かれています。この朝市ではシルバー人材センターの会員らが寄せた採れたての野菜やお米、旬のものを販売しています。訪れる人たちは、買い物ついでに館内でのんびりとコーヒーを飲んだり、座敷に座って話し込んだりと、新しい交流の場として大いに活用されています。



かわいい仮装ができました

10月8日、武芸川生涯学習センターで乳幼児を対象にハロウィンが開催され、未就園児とその保護者合わせて56人が参加しました。子どもたちはかわいい仮装をして、お母さんといっしょに記念写真を撮ったり、お菓子をもらったりしました。また、ボールや輪投げのミニゲームをして楽しい時間を過ごしました。

消防車と力くらべ

チビッコふれあい消防広場がわかさ・プラザで開かれ、市内の保育園と幼稚園の園児約950人が消防車や消防隊員と交流しました。園児らは防火衣を着たり起震車に乗って震度7を体験したりしました。また、綱引きコーナーでは重さが5トンもある消防車を、力を合わせて引っ張り、引っ張り終えると園児らは歓声をあげて喜びました。



こぼれ話



恒例の刃物まつりが今年も盛大に開催され、各所でいろんな催しが行われる中、濃州関所茶屋では訪れた人たちが、刃物検定（通称：はもけん）のお試し版「ミニはもけん」に挑戦していました。はもけんは、刃物の正しい使い方を知り、大切な道具として愛着をもってもらおうと、刃物関係者の方から市に提案されたのがきっかけ。市ではゼロ予算事業として作成事業を開始し、市民ボランティアを募集。現在、事務局を

含めて8人のメンバーが月に1～2回、主に土曜の夜に会議を開いて検定問題の取材や研究、作成をしています。お祭りの2日間、用意された1,000枚の問題用紙がすべてなくなるほどの大盛況を見せたミニはもけん。私も挑戦してみました。結果は散々でした。はもけんの本番は来年5月を予定しています。作成メンバーも募集していますので、興味のある方は、はもけんプロジェクト事務局（工業振興課内 ☎23-6749）までご連絡ください。